



『中等教育資料』（文部科学省教育課程課編集）

中学校・高等学校における学習指導要領上のねらいや授業の実践、校内研究に必要な不可欠な理論・実践事例を豊富に紹介している月刊誌。

「教育小景」

社会で活躍している人のエピソードや教育や学校について語るコーナー

【令和6年3月号】

水戸岡鋭治さん（トーンデザイン研究所 代表取締役／デザイナー）

建築・鉄道車両・グラフィック・プロダクトなど様々なジャンルのデザインを行う。

主なデザイン作品に、JR九州の新幹線、クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」、大阪駅「大阪ステーションシティ」など



—教育へ期待することやメッセージをお願いいたします。

我々大人が、子供たちが本気で感動できるような、活躍できるような舞台をつくるのが大切だと思います。 . . .

感動が大きければ大きいほど、その時の全てを五感で身に付けていると思います。その時の色、形、素材、香り、音。その時に誰と一緒にいて、何を話したか、何を食べたか、全部覚えていますよ。小さい感動体験の積み重ねが、自分の思い出として自分をつくっていく。子供たちは経験が少ないので、我々が想像している以上に感動の度合いが深いのかもしれません。 . . .

そのような装置をどうつくるかが、大人の仕事だと思います。 . . .

私は、この色がいいねとデザイナーとして色を決めるときには、昔見て感動した色を選んでいきます。幼少期過ごした岡山の吉備津神社の風物が、私の感性の通奏低音となって、今のデザインの仕事にもものすごく役に立っていると思うのです。

子供たちに豊かな感動体験を